

高林北町みどり環境保全向上推進協議会の取組み



平成23年 2月 9日 (水)
前橋テルサ 2階 ホール

地区概要

本地区(太田市高林北町、福沢町)は、埼玉県熊谷市と利根川を県境にした北方に位置し、商工業が盛んで混住化進む一方、多くの水田があり四季に渡り自然と人がよく調和された立地条件となっている。

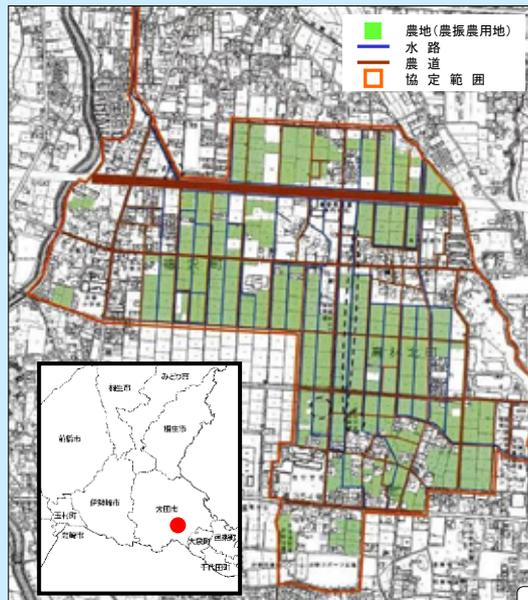
- 協定の対象となる資源
協定農用地: 67.4ha (うち農振農用地37.4ha)
 - ・田56.4ha (うち農振農用地33.0ha)
 - ・畑11.0ha (うち農振農用地4.4ha)
- 開水路: 16.4km
- 農道: 16.4km

●体制

- 構成員
- 農業者
 - 3農事組合・地元用水管理組合
 - 農業者以外
 - 高林北町(449世帯)・福沢町(241世帯)
 - 自治会各団体 障害者支援福祉施設

支援
指導

待矢場圃壊土地改良区



事業実施前の状況

- ・用水の堀ざらい、除草等は受益毎の農家が共同で実施していたが、次第に農業を辞めた人の参加が減り十分な管理とはいえない
- ・耕作放棄地が目立つようになってる。近隣住民の関心も高くはない
- ・混住化により、非農家が増え農業への関わりがなくなっている
- ・稲作を中心に麦作の二毛作の水田地帯である
- ・施設の修繕などは、ほとんど行われていない

主な活動内容

●基礎部分、農地・水向上活動

- ・水路・農地・農道の堀ざらいや草刈り
- ・水路、水門の修繕・修理、農道の管理
- ・耕作放棄地の撲滅

●農村環境向上活動

(選択テーマ: 景観形成・生活環境保全)

- ・生きもの調査
- ・施設への植栽(水路、畦畔、農道)
- ・農業体験
- ・れんげ畑(遊休農地)
- ・地域の各種イベントでの啓蒙活動
- ・広報誌の全戸配布

2

活動状況① 農地



機能診断や点検活動により状況を把握し耕作放棄地にならないよう、地主や農事組合へ遊休農地の管理をお願いしている。



3

活動状況② 開水路

従来の活動(堀ざらい・除草)



新たな活動(施設の長寿命化)



4

活動状況③ 農道



生活道路の機能を有する農道は、住民みんなで管理。普段、気がつかないゴミの多さにびっくり。

5

活動状況④ 景観形成(農地)

秋には空いている農地(田)へれんげを播種し、景観形成とともにれんげの本来持つ役割などを看板を作成して紹介。一般住民にも環境面から農業へ関心を持っていただけるよう配慮しています。ポニーの乗馬体験には多くの地域の子供たちが集まり、楽しみながら自然や農業について学びます。



6

活動状況⑤ 景観形成(農道・水路)

農道へパンジー、サルビア、水路沿いには彼岸花を植栽し、景観形成とともに活動を通して地域の繋がりを深めています。



7

活動状況⑥ 啓蒙活動(農業体験)

●農業体験
遊休農地を有効利用し、耕作放棄地の防止しています。植込みから草むしりなど、日頃の管理も実施し、作物を育てる難しさを実感しました。



8

活動状況⑦ 啓蒙活動(生きもの調査)

●生きもの調査: 地元保育園の協力を得て、毎年実施しています。田んぼや水路の生物の調査および子供たちには、自然に触れる体験を通して環境保全の大切さ、そしてそれが農業へ直結することを教えています。



大人でも驚くほど、多くの生きものを確認しました。最終日には、全員で勉強会しました。

9

活動状況⑧ 広報活動

広報誌は2回/年 全戸配布



広報のため、長寿会、育成会、体育協会、自治会の各総会へ出向き、日頃の協力のお礼と参加者拡大のお願いをしています。



地域の文化祭へ出展し活動をPR



10

報道



新聞や地元ケーブルテレビでも紹介され、関心を集めています。

「生きもの調査」と「れんげ畑でのポニー体験」の記事 (上毛新聞)



11

その他① アンケート調査(地域の意識)

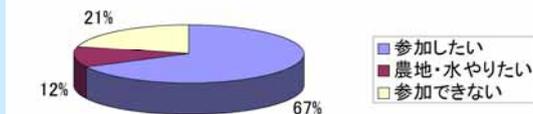
農地・水・環境保全向上対策は、実践してはじめてその素晴らしさや効果を知ることができます。

啓蒙活動では、地域の祭りに活動の展示をして、地区外の方々へ意識調査を実施しました。



地域文化祭 展示ブース前でのアンケート調査の様子

農地・水 意識調査



他地域の方々への意識も、「参加したい」「(自分の地域でも)農地・水やりたい」8割近くの方に賛同を頂き、正しく伝えることにより、一層活動の輪が広がっていくと考えられます

12

その他② 事業の成果

これまでの地道な活動、広報・啓蒙活動の成果として、平成22年度から隣接地域の福沢町が事業に参加。
活動範囲を拡大いたしました。

		変更前	変更後
地 区		高林北町	高林北町 福沢町
協定面積 (うち農振 農用地)	田	32.7 (24.0)	56.4 (33.0)
	畑	5.0 (2.0)	11.0 (4.4)
ha			
農業施設	開水路	11.0	16.4
	農道	14.9	16.4
km			

更なる高度な活動の要望も出され、水路の雑草対策も実施いたしました。(用水路への防草シートの施工)



14

おわりに・・・

成果と課題

- ・農業者をはじめ、地域住民各層の方々が、農村環境の保全の理解を図ることができた。
- ・各種行事の協働作業を通して、地域住民の絆を深めることができた。
- ・子供たちが「清掃活動、生きもの調査・農業体験・・・」等の実践活動により、自然や農業への関心を高めることができた。

無関心 → 意識化 → 実践化

- ・指定期間完了後、いかに発展継続させていくか。
- ・次世代のリーダー育成と後継者の確保。
- ・参加者の固定化と拡大をどう図っていくか。



ご清聴ありがとうございました